

民主主義を踏み外す危険



元参院議員
元西武百貨店社長
水野 誠 一さん

秘密保護法案では、ネット上で真実をつぶやくことすら、政府に目の敵にされそうです。私は秘密保護に必ずしも反対とは言いませんが、正しいルールが必要で、しかし秘密

保護法案は誰に対して何が秘密なのか分からないという、きわめてあいまいな内容です。首相や政府の判断で、簡単に「秘密」が決められるのも恐ろしい。戦前の治安維持法の考え方と同じです。これを契機に日本が民主主義国家の道を踏み外す

ことが危惧されます。国際社会では、秘密をできる限り限定し、メディアや非公務員は処罰対象にしないという「ツワネ原則」があります。国際社会のルールに照らしてもおかしい法案なので、国連からまでも懸念の声があがっているのです。